

## 海外安全対策情報 2018年1月～3月

在スロベニア日本国大使館

### 1. 社会・治安情勢

#### (1) 一般犯罪・事件

報道によれば、大麻栽培及び拳銃等所持事件の検挙（1月、ラツェ）、車両内でのヘロイン及びコカイン計30キロ所持及び拳銃所持事件の検挙（1月、リュブリャナ）、中国人等による振り込め詐欺グループの検挙（1月、マリボル等）、偽造ユーロ紙幣行使事件の検挙（1月、プトゥイ）、クロアチアからコルパ川を越えて不法入国しようとした外国人の溺死（2月、プレクムリエ）、住宅侵入強盗グループの検挙（2月、ツェリエ）、元義母に対する殺人事件の発生・検挙（3月、ツェリエ）、拳銃使用銀行強盗事件の発生・検挙（3月、リュブリャナ）、郵便局強盗事件の発生（3月、リュブリャナ）、不法移民による滞在許可不正取得事件の検挙（3月、マリボル）、不法移民の密入国斡旋組織の検挙（3月、スロベニア、コソボ）、外国人による自動車窃盗事件の検挙（3月、マリボル）などがあった。

#### (2) 労働運動

1月24日、公務員約3万人が、給与の引き上げ等を求めてストライキを行い、首相府前では、4,000から5,000人が集会を実施した。2月及び3月中も、警察官、教員、医療関係者等によるストライキ、集会が行われた。

#### (3) 不法入国

スロベニア警察の統計（※）によると、2017年中の不法入国件数は、1,930件であり、前年比79.7%増であった。国籍別上位は、アフガニスタン人645人、トルコ人169人、コソボ人165人、パキスタン人158人、アルジェリア人133人であった。

また、2018年1月から3月での不法入国件数は、612件（前年同期202件）であった。国籍別上位は、アルジェリア人139人、パキスタン人105人、モロッコ人48人、シリア人47人、クロアチア人45人であった。

（※）速報値であり、後日変更されることがある。

### 2. 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人の被害報告はない。

### 3. 日本企業の安全に関わる諸問題

当国の対日感情は全般的に良好であり、問題の報告はない。